

S食育ネットの取り組みについて

～発足からこれまで・今後～

仲間づくりを大切に！



S食育ネットとは？

地域では多くの多様な団体が食について考え、活動し、実績をあげています。

しかし、保健・医療・福祉・教育・農業・産業等、それぞれが縦割りで活動しているようです。

そこで、一緒に組むことで、よりよい活動が生まれるのでは！と考えました。

地域の食を充実させたい、楽しい、効果的なネットワークが作りたい！！ ローカルな地域で！

でも、自分達の組織活動を疎かにしてまでのネットワークづくりは考えられない。

…ということで、**自分達の活動をさらに充実するために協力しえある仲間づくりをしたい**との思いを持った人達が集まり、2004年にネットワークができました。

ネットワークの名称は、活動開始当初とりあえず坂戸管内のため、“S食育ネット(仮称)”と名づけ活動が続けたところ、この名称が定着しこのまま“S食育ネット”となりました。

【活動内容】

- ・会員相互の情報交換
- ・地域への食育情報の発信・支援
- ・食育に関する調査・研究 など

【メンバー】

- ・坂戸保健所管内市町および近隣の市町村において、地域の食育に取り組んでいる個人および団体
- ・S食育ネットに協力する個人および団体で本会の趣旨に賛同する者

食育ネットをすすめる経過

<年月>

<全体会>

<準備会>

2003年 坂戸保健所管内で、食の活動を行うグループの課題解決のためにネットワークづくりを検討する。

2004年

9月 地域で暮らす人々が生きる力を育むための食育を考える会

a 準備会

11月 食育ネットづくりの必要性を確認

b 準備会

12月

c 準備会

2005年

d 準備会

1月
2月

食育ネット会議

4月 管内の活動に関する活動の方向性を提案する場をもち、意見交換しながらネットワークを広げる。

e 打ち合わせ

7月

f 準備会

8月 食育ネットホームページ開設

g 準備会

11月 食育ネット会議

2006年

食育ネットの発展のための検討会

2月

g 世話人会

3月 食育ネット会議

目標1：生涯、健康で自分らしく生きる食を育む地域

目標2：食事をみんなで大切にする地域

課題

多様なスタイルの中で食生活がゆらいでいる

食知識・体験の不足により望ましい食事づくりに問題がある

情報の氾濫により食の安全が危惧される

課題

好き嫌いや偏食が増えている

家庭でバランスの良い手作り料理が作られていない

日本の食文化や食習慣が失われつつある

方策

ライフスタイルを見直し健康に暮らすために食の重要性を学ぶことができる

食知識や体験から食を学ぶ機会を増やす

的確な情報を発信する

方策

子どもの頃から大人まで様々な食体験をする

家族1人ひとりが食事づくりに関心を持つ

専門家や学校、高齢者、地域から知識・情報を学ぶ

そのために私達が具体的に活動していること

私たち **a** は.

b のために

c
の活動してきました(又はしたいと考えています).

この活動を高めていくために、

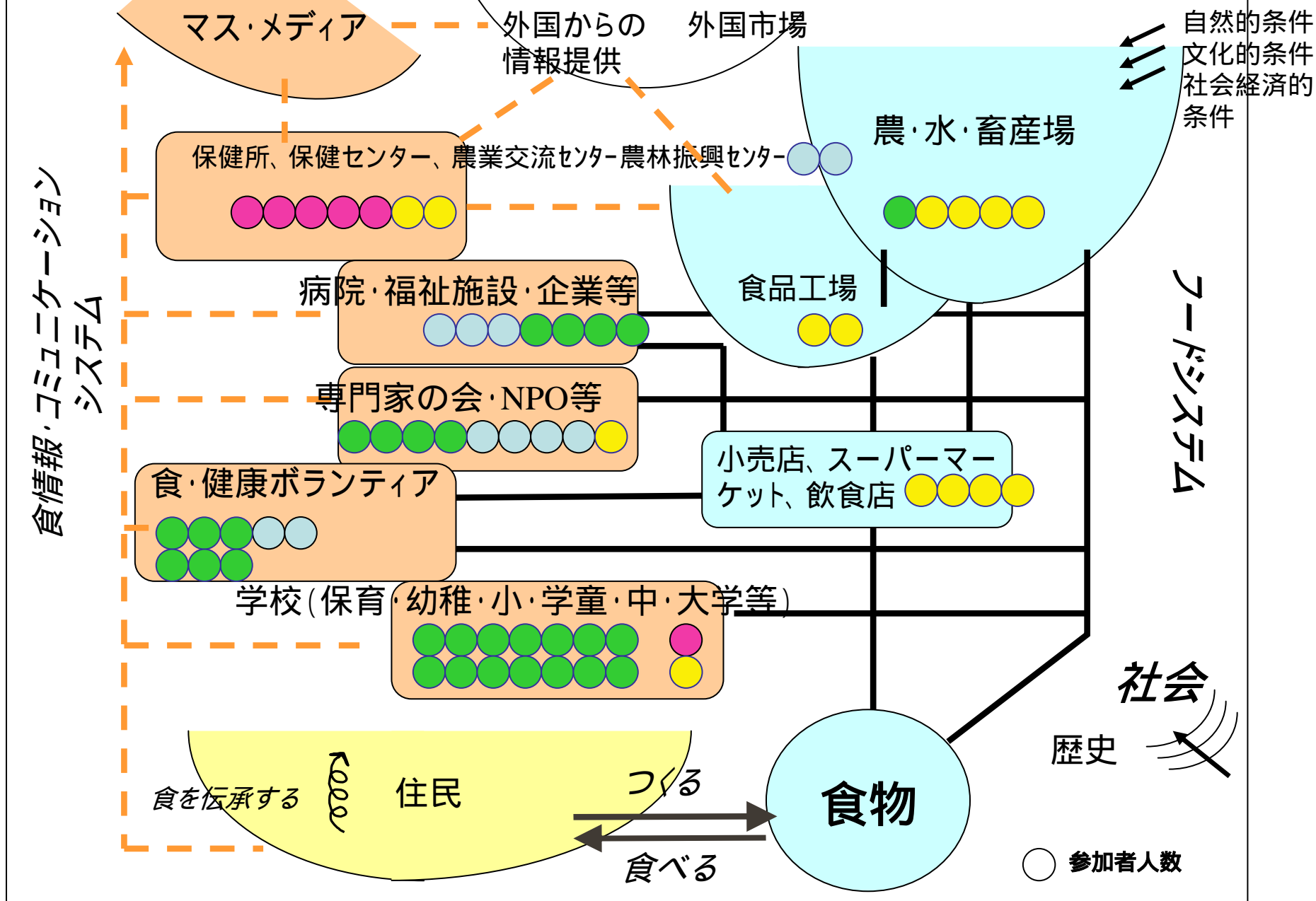
d
が必要なので

e
に活動のパートナーになってほしいと願います。

a: グループ等の名称 **b:** 食育で育てたいこと **c:** 重要視していることや得意なこと

d: 必要なのにうまく進まないことや不得意なこと **e:** プロポーズするグループや個人の名前

プロポーズ作戦のためのワークシート



S食育ネット加入団体等

(足立己幸:人間と食生活のかかわり, 1987 を基に作成)

これまでの活動

- 地域で暮らす人々が生きる力を育む食育を考える
- 地域の食育は何をめざして誰がどのように活動するか
- 今、大切にしたい食育
- 各グループの特徴を育てつつ、より密な食育ネットワークを育てたい！
- 食物こそ「食」のメッセージ

パンづくりを通じた食育

生産者からの食育

農業体験を通じた食育

子ども達の食育

高齢者や障害者にとっての食育

元気になるハウス～いきいきハウスにぎやかな活動

地域自給で生活するための農業をめざして

埼玉県農業大学校とは？

地区の食の安全・安心体験学習

県産米の話

醤油はどのようにしてできるか

さゆり幼稚園における食育

いちご栽培への新規就農

あなたにとって食育とは？…

私たち **a** **S食育ネット** は.

b 生涯、健康で自分らしく生きる食を育み
食事をみんなで大切にする地域の実現 **のために**

c 相互の情報交換や、地域へ食育情報の発信・協働

の活動してきました(又はしたいと考えています).

この活動を高めていくために、

d 目的を同じにする多くの分野との関わりが

が必要なので

e より多くの仲間

に活動のパートナーになってほしいと願います。

プロポーズ作戦のためのワークシート